



# 営農サポート通信 第20号

平成25年9月 JA都城：営農サポーター（TAC）



Tとことん、A会って、Cコミュニケーション!!

## 水稻害虫防除警報

トビイロウンカ（秋ウンカ）が、過去10年間で最も多い状況です。今後、収穫期にかけて坪枯れの被害が懸念されますので、よく観察し生息する場合は薬剤防除を実施しましょう。

★推奨薬剤（3商品とも収穫7日前までの散布になっています）

- スタークル豆つぶ（250g） 10a/250g 散布
  - ・畦から手まき散布が可能で、省力型の薬剤です。
  - ・水をためて（3~5cm）散布し、4~5日間は灌水状態にしてください。
- スタークル粉剤DL（3kg） 10a/3kg 散布
- スタークル液剤（500ml） 希釈倍数 1,000倍 10a/60~150ℓ 散布
  - ・株元まで確実に薬剤が到達し、殺虫効果を高めるために、水をためて散布して下さい。



## かんしょ害虫防除（ナカジロシタバ、ハスモンヨトウ対策）

ナカジロシタバ、ハスモンヨトウの発生が多くなっています。散布が遅れると防除効果が低下し、被害が激しくなる恐れがありますので、早めの防除をお願いします。

農薬名	希釈倍数	使用時期	使用回数
トレボン乳剤	1,000倍	収穫7日前まで	3回以内
ラービフロアブル	750~1,000倍	収穫3日前まで	3回以内
コテツフロアブル	ハスモンヨトウ 2,000倍	収穫前日まで	2回以内
フェニックス顆粒水和剤	ナカジロシタバ 2,000倍 ハスモンヨトウ 2,000~6,000倍	収穫前日まで	2回以内

※甘藷栽培暦より

## 今後の里芋管理について

白芽・赤芽の生育状況は、今年は晴天日が多かったため害虫の発生が多い状況です。以前の殺虫剤で効果が見られなかった方は、下記の農薬の使用をお勧めします。

なお、芯（芽の部分）が活着しているところは、年末の収穫までは期間がありますので、葉面散布剤で活気を取り戻しましょう。

### 《殺虫剤》

- フェニックス顆粒水和剤（甘藷でよく使われて効果が現れています）
  - ・希釈倍数 2,000倍 10a/100リットル程度の散布をお勧めします。（展着剤を使用）

### 《追肥》（一週間おきに2~4回散布を目的に）

- 液肥特2号 希釈倍数 500倍 10a/100ℓ 散布

- NK化成7号 10a/20kgを畝間（通路）散布（除草対策後）

## にんじん用除草剤紹介



## ワンクロス WG 2成分のクロスパワーで一年生雑草をたたく

- 1.イネ科雑草全般に高い茎葉処理効果を示す、フルアジホップP（ワンサイドP乳剤）広葉雑草に対し高い茎葉兼土壌処理効果を示す、リニューロン（ロロックス）の効果により、本剤でほとんどの畑地一年生雑草をすみません。
- 2.土壌処理効果を有しますので、一定期間雑草の生育を抑えることができます。

すみません  
今年の製造は終了しました

使用時期：にんじん3~5葉期（播種後20日以内）に、収穫30日前まで

使用量：10a当たり、薬剤200~250gを水100ℓにうすめ散布。

使用回数：1回

※高温時の処理で薬害が生じるおそれがあるので、極端な高温時での使用はお控えください

※品種により薬害を生じることがあるので、事前に使用品種における薬害の有無を確認ください

※（お知らせ）本剤につきましては、加工人参事業奨励の対象になりません。

## コンバイン（稲刈り機）の自動車共済加入のお勧め

10月は稲刈り時期に入ります。コンバインでの事故（接触等）が毎年報告されています。コンバインをお持ちの方は、『自動車共済』に加入されることをお勧めします。コンバイン等の使用の時期が限られた農機も短期の掛金で対応できます。

### ○標準的な掛金：2,450円

内容：対人、対物（無制限）、搭乗者傷害（500万円）：（2ヶ月間の契約が可能です）

◆今一度、我が家のトラクターの加入状況もご確認ください。（掛金は13,770円〜）

◆標記の掛金は一例です。加入条件（人傷、搭乗者、車両等）で掛金は違ってきます。

## 『サポート通信』20号特集 営農サポーターの取組み状況について

平成23年に「地域農業を担う組合員に出向くJA担当者」として設置され、本格的な活動を始めて約2年半が過ぎ、皆さまのお陰を持ちまして、『営農サポート通信』も記念すべき20号を迎えることができました。心から感謝申し上げます。

当初、面識の無い組合員さんとの訪問面談は、正直戸惑いも感じました。数回面談させて頂く間に、自分たちで出来る精一杯の営農情報の発信と資材（肥料、農薬等）の提案を通して、少しずつではありますが活動に理解してもらえるようになりました。

今回は、私たちの活動が実を結んだ内容を一部ご紹介いたします。

- ①皆さんとの面談回数：5,000回以上
- ②JA契約作物の提案：100件以上（50件程度の集荷がありました）
- ③資材（肥料・農薬・農産資材）の提案による受注：200件以上（支所窓口購買除く）
- ④補助事業、融資の相談や手続き支援：90件程度（40件程度の実績がありました）

その他にも皆さまからの色々な営農相談に対応しています。私たちの訪問の際には、遠慮無く気軽に営農のご相談をお聞かせ下さい。  
**（営農サポーター 一同より）**

（文書取扱：JA都城 営農企画室） 事務所の電話番号は38-6693です